

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立八幡屋小学校

令和 7年 4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では「知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな実践力のある子供を育てる」という学校教育目標のもと、体験的な学習の深化と充実を図り、知的興味や関心を励起し、基礎基本の学力の定着、豊かな心の醸成、体力の向上や生活の自立につながる保健指導・生活指導、さらには家庭との連携にも力を入れている。

全国学力学習状況調査の平均正答率は、【国語】では令和4年度の結果と比較すると、全国の平均正答率との差は小さくなつた。また、平均無答率も向上している。領域では「書く」「言葉の特徴」で学力の向上が見られた。学校全体で取り組んでいる漢字学習や漢字検定に向けた学習の効果が見られた。「話す・聞く」「読む」では学力の向上が見られなかつた。音読や読書についての取り組みをすすめているが効果としては十分表れてはいな。【算数】では令和4年度の結果と比較すると、全国の平均正答率との差は縮まっていな。また、平均無答率も同様である。領域では「変化と関係」で大きく学力の向上が見られた。すべての単元で取り組んでいる習熟度別少人数指導で個々が考えて解答を導く機会を大切してきた効果が見られた。「図形」「データの活用」では学力の向上が見られなかつた。「学力向上支援チーム事業」「各ブロック学力推進事業の実施」で算数を中心に研究・授業改善・個別指導をすすめているが、まだ効果は十分表れてはいな。従来より視写や読書指導の充実を図るほか、漢字検定や計算検定、音読大会にも取り組み、児童への動機付けを図っている。さらに、放課後学習YASSの学びの場を設定し、大阪市の学力向上支援事業とも連携しながら学校全体で取り組んでいる。今後も学習規律の徹底や効果的な指導法の工夫・改善をさらに図るとともに、保護者と連携しながら家庭学習の充実を図っていく。

体育の授業やキッズタイム（たてわり遊び）で様々な運動や遊びを経験する機会を設定するとともに、「なわとびタイム」「かけ足タイム」などの強化月間・週間により、楽しく体を動かす習慣をつけ、体力・運動能力を高めることができるように取り組んできた。そのため、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、全国・大阪市との差は縮まってきており、平均を上回る結果も出ている。しかし「反復横とび」や「立ち幅とび」の平均点が本年度も全国・大阪市平均より下回り、記録は良くなかつた。素早さやタイミングの分野での運動能力の向上が課題である。「50m走」、「ソフトボール投げ」、「握力」については差が縮まり、記録は全国・大阪市平均より高い。今後も、全国・大阪市平均より「体力合計点」が上回るように、体育の授業時間に限らず、小体連による放課後のスポーツ活動との連携や、子どもの体力向上支援事業（シナプソロジー）など、多様な取組の工夫を継続して行い、運動能力、体力の向上を目指していく。

学校運営の基本スタンスとして、「チームワーク、トライ＆チャレンジ」をモットーに「チーム八幡屋」として、教職員が一体となって目標を追求し、全体で成果をあげる。また、子どもたちの教育に大胆に、果敢に挑み、挑戦する。

【学力向上】

1. 学ぶ楽しさを味わえる主体的・対話的で深い学びの実現
2. 基礎・基本となる知識の定着
3. 読書活動の一層の推進
4. 授業力・指導力の向上につながる研究・研修
5. 学力向上のための少人数指導の充実

【道徳心・社会性の育成】

1. 道徳学習の充実
2. 子どもに主体的に考えさせる指導の徹底
3. あいさつの徹底
4. 自尊感情を高め、自己有用感を感じられる取組

【健康・体力の保持増進】

1. 運動する楽しさを味わえる体力向上の取組
2. 自他の心と体を大切にする教育の推進

【多様性を認める】

1. 多文化共生教育の充実
2. インクルーシブ教育の推進

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の児童を令和3年より1ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、答える児童の割合を100%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を81%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

【その他】

本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立八幡屋小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>95%</u>以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>92%</u>以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>90%</u>以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を<u>100%</u>にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災教育を通じて、安全・安心な教育活動を目指す ・道徳教育や避難訓練前後の指導を通して、防災や安全に関連する学習内容を指導し、防災への意識や関心を高めていくようする。 <hr style="border-top: 2px dashed black; margin-top: 10px;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等を年に 3 回実施する。 ・引き渡し訓練を年に 1 回実施する。 ・避難訓練後に避難訓練アンケートを行い、「災害が起こったときにすることがわかる」の項目で肯定的に回答する児童を<u>100%</u>にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育活動の推進】</p> <p>児童会活動を通して、学期ごとに「あいさつキャンペーン」やと「右側通行キャンペーン」を 1 回ずつ行っていく。</p> <hr style="border-top: 2px dashed black; margin-top: 10px;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで「きまりやルールを守っている」の項目で肯定的に回答する児童を<u>92%</u>以上にする。 ・児童会が作成した児童向けアンケートで「あいさつ」に関する項目で肯定的に回答する児童を<u>90%</u>以上にする 	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

- ・平和や人権、多文化共生についての理解を深めるとともに豊かな心の育成をはかる。
- ・国際理解教育の実践を中心に多様な価値観や文化があることを知ることで、多文化共生を推進していく。
- ・平和教育を通して、豊かな心情や互いの文化や習慣を尊重しあい、平和を願う心を育てる。

指標

- ・年間で児童理解研修会・平和学習集中実践などの報告会を3回行う。
- ・「いじめ（いのち）について考える日」では、児童の発達段階に応じて、全学年でいじめについて考える取り組みを行う。
- ・月1回の生活指導連絡会・いじめ対策委員会を開き、学年の実態把握、情報共有を行い、子どもたちを支えていえけるような体制を整える。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立八幡屋小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より<u>0.1ポイント向上</u>させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を<u>81%以上</u>にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を<u>89%以上</u>にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学力向上を目指して、主体的・対話的で深い学びを得るための授業づくりに取り組み、個に応じたきめ細かで継続した指導・支援の充実を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>算数科の評価テストにおいて、いずれの学年も平均を70点以上にする。</p> <p>国語科・算数科の単元テストにおいて、第4区分に相当する児童の割合を各学年1人以下にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体を動かす機会を多く持てるよう工夫し、児童が進んで楽しく運動する習慣を付ける。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケートの「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して<u>89%以上</u>が肯定的に回答している。</p> <p>新体力テストを年2回実施し、2回目の結果を1回目より向上させる。</p>	
<p>取り組み内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健指導を通して朝ご飯の大切さについて伝え、保健便りや掲示物で各家庭に啓発する。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケートの「毎朝、ごはんを食べている」の項目に対して肯定的に回答する児童を<u>90%以上</u>にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式例 2)

大阪市立八幡屋小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の<u>75%以上</u>にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く]</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を<u>80%以上</u>にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>72%以上</u>にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】 心の天気の入力を習慣化することによって、学習者用端末を活用する機会を増やす。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の天気を児童の 80%以上が入力することを習慣化する。 <p>取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働学習支援ツールを用いた学習を通して、学びに向かう力を身につける。 タイピングカリキュラム等を作成して PC のタイピング能力を高められるようにする。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働学習支援ツールを用いた学習を週 2 回実施する取組を行う。 スカイメニューを使った研修を視聴覚担当の先生と計画をたてて行う。 学年に応じたタイピングの目標を決めてタイピングの練習を行う。 (文部科学省が定めた目標が 1 分間 40 文字) <p>取組内容③【基本的な方向 7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革の取組を通して、働きやすい職場づくりを行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。学校閉学日については、夏季休業期間中は 3 日以上、冬季休業期間においては 1 日以上設定する。 ゆとりの日には会議等を設定せずに、17 時退勤を目標とする。 始業式、終業式の前倒し、後倒しを行う。 家庭訪問、懇談会時は 4 時間授業。 1 学期最終週を短縮授業、2 学期開始週を 4 時間と設定し、9 月にも酷暑が見込まれるので 2 週間を 5 時間授業とする。 	進捗状況

取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】

- ・読書環境や読書活動の充実を図る。
- ・読書活動の充実を図る手立てを図書委員会中心に考えて実行する。

指標

- ・読書環境を整える手立てとして、子どもの興味関心に即した本を増やしたり、学校図書館を運営することを委員会活動とひとつとして会開放日を週2回程度設定したりする。
- ・学級文庫の入れ替えを年1回以上行う。
- ・図書室の環境整備を行いながら利用しやすい環境を作る。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点